



港区新橋 5-15-5
国鉄労働組合中央本部
☎ 03-5403-1640
発行人 松川 聡
編集責任者 瀧口良二
(組合員の購読料は
組合費の中に含む)

月間
白話
5・13 日産が6708億円の最終赤字で27年度までに国内外7工場閉鎖、2万人削減のリストラ策を発表
5・16 「能動的サイバー防

御「関連法案成立、通信の秘密や個人のプライバシー権侵害に課題残す」ロシアとウクライナが約3年ぶりにトルコで直接交渉を開始、停戦合意の見通し立たんずマ
5・21 江藤拓農水大臣が「コメは買ったことがない」発言で事実上の更迭、後任の小林進次郎新大臣は備蓄米の小入札を中止し、無制限放出を表明
5・30 年金制度改革関連法案等が自公・立憲3党の賛成多数で衆議院可決

6・3 韓国新大統領に革新系最大野党「共に民主党」の李在明前代表が当選、後任の李在明前代表が当選、6・8 トランプ米政権が州兵を動員してLAの移民政策抗議デモを弾圧▽減税法案等をめぐり、トランプ大統領と実業家イーロン・マスク氏の決裂が決定的に

意が述べられた。その後、エリア・地方本部から組織強化・拡大の報告が行われ、谷澤昭男さん(近畿地本)、吾郷隆志書記長(米子地本)、福岡彰執行委員(九州エリア)、佐藤智恵美会計監査(秋田地本)、小川敏広執行委員(静岡地本)、松吉祐典執行委員(東京地本)の順に話された。続いて、JR世代を対象とする各種行動の感想として、4月の「国労青年部安全学習交流会」について本部青年部の坪井大地中央常任委員(長野地本)、5月の「沖縄平和行進」について本間寿執行委員(神奈川県本部)、4月の「被爆80年国鉄労働組合視察学習交流会」について本部青年部の松本康平中央常任委員(東京地本)が行動の報告と感想を述べた。



国鉄労働組合は来年2月、結成から80周年を迎える。私の鉄道(国労)人生46年そのすべては、この80年の中に凝縮されている▼10代で分会青年部教宣部長となり、直後に支部青年部常任委員23歳で支部青年部書記長になり、東京・三多摩における地域共闘運動にも携わってきた。東京地本青年部常任委員と兼務での支部青年部長を担い、翌年の支部大会で支部執行委員となり教宣部長の任務に就いた。28歳の時のことで、当時支部組合員は5500人、青年部は1600人程度だったと記憶している▼あけても暮れても組合活動に没頭していた当時を思い起こすと、とても懐かしい。仕事帰りには必ず支部事務所立ち寄り、二ノス作成や仲間との熱心な議論が絶えず、気付けば終電手前で帰宅するといった毎日。土日の休みも必ず事務所に向き、仲間との議論に夢中となっていた▼31歳の春、会社幹部の逆鱗に触れる事象が露呈したことから、当時では不当労働行為としてあり得なかつた支部執行委員のエリア外への強制配転が、施策の一端に見せかけ強行された▼これで役職御免となるはずが、休む暇なく東京工務協の役員東日本工務協の役員、そして国労工務協全国連絡会の役員と立て続けに任務を請け負い、41歳で東京地本教宣部長となつて以降は、東京で10年間東日本で4年間、本部で8年間の時間が過ぎようとしている▼思い出話に終わらせない運動を、改めて全国の仲間とともにつくり上げたい。(宮)



国鉄労働組合は来年2月、結成から80周年を迎える。私の鉄道(国労)人生46年そのすべては、この80年の中に凝縮されている▼10代で分会青年部教宣部長となり、直後に支部青年部常任委員23歳で支部青年部書記長になり、東京・三多摩における地域共闘運動にも携わってきた。東京地本青年部常任委員と兼務での支部青年部長を担い、翌年の支部大会で支部執行委員となり教宣部長の任務に就いた。28歳の時のことで、当時支部組合員は5500人、青年部は1600人程度だったと記憶している▼あけても暮れても組合活動に没頭していた当時を思い起こすと、とても懐かしい。仕事帰りには必ず支部事務所立ち寄り、二ノス作成や仲間との熱心な議論が絶えず、気付けば終電手前で帰宅するといった毎日。土日の休みも必ず事務所に向き、仲間との議論に夢中となっていた▼31歳の春、会社幹部の逆鱗に触れる事象が露呈したことから、当時では不当労働行為としてあり得なかつた支部執行委員のエリア外への強制配転が、施策の一端に見せかけ強行された▼これで役職御免となるはずが、休む暇なく東京工務協の役員東日本工務協の役員、そして国労工務協全国連絡会の役員と立て続けに任務を請け負い、41歳で東京地本教宣部長となつて以降は、東京で10年間東日本で4年間、本部で8年間の時間が過ぎようとしている▼思い出話に終わらせない運動を、改めて全国の仲間とともにつくり上げたい。(宮)

第18回全国組織強化・拡大経験交流集会開催

待ったなしの組織拡大、自信を持って声掛けを

国労本部は6月1日、2日で第18回全国組織強化・拡大経験交流集会を神奈川県KKR江ノ島ニュー向洋で開催した。集会にはJR採用者を中心に46名が参加し、組織の強化・拡大について熱心な討論が行われた。

1日目

開会挨拶を宮崎浩則総務財政部長が行い、1日目の司会進行を担当した。

主催者を代表して、木村忠義執行副委員長が挨拶を行ったあと、参加者は「一財」国鉄労働会館の中央労働講座を聴講した。

講演は、横浜合同法律事務所海渡双葉弁護士を講師に招き、「今後の労働運動の課題とハラスメント問題について」と題して行われた。

講演では、ハラスメントは、企業の規模を問わず、業種・業態を問わず、どこでも発生しうる可能性があり、誰もが被害者にも加害者にもなる可能性があること。厚生労働省の調査では、虐め・嫌がらせの相談は年々増加している、ハラスメントの問題の本質を捉えて対策を考える必要がある、労働組合としてハラスメント問題に取り組むことの重要性を強調された。

今回は、若い組合員の「組合ではどんな業務を行っているのかを知りたい」という要望を受け、組合運営に関する学習とし

て、各専門部の部長より業務内容の説明が行われた。

鈴木郁夫組織部長から、①国労組織について、②組織人員の集約、③集会・動員等の点検・集約。とりわけ重要な④組織強化・拡大に向けては、(1)各エリア本部・地方本部との情報共有・連携の取り組み、(2)JR内各労働組合の情報収集、(3)組織拡大に関するもの、(4)TUNA Gの取り組み推進、(5)青年部・女性部との連携について詳細に話された。

瀧口良二教宣部長から、教育関係は「一財」国鉄労働会館の協力を得ながら、全国大会や中央委員会等で中央労働講座を開催して頂いていること。宣伝関係では国労HPの更新と月1号の国鉄新聞発行を行っているが、国鉄新聞の紙面充実には全国からの投稿が不可欠だと話された。

宮崎総務財政部長から、総務関係で労働条件整備として、①職場環境の整備では、(1)コロナ対策での感染予防、(2)地震などの災害対策、(3)事務所フロアの改善、②書記職員の賃金基準の整備。役員・



講演する海渡弁護士

エリア本部における団体交渉の把握、(2)組合規約に基づく全国協議会の団体交渉、(3)会社施策の検討、(4)エリア本部業務部長会議の開催について報告され、調査関係で賃金生活実態調査の取り組みについて話された。

2日目

集会2日目の司会進行は本部青年部の工藤拓真副青年部長が担当した。

鈴木組織部長が本部組織部としての提起を行い、これを受けける形で近畿地方本部の西澤宗司組織部長が、「近畿地方本部における組織拡大に学ぶ」と題した報告を行った。

報告後に、加入した澤井正磨さん(西日本ロジスティクス)と竹嶋駿太郎さん(JR西日本)から加入の思いと決

「高校生平和大使・高校生1万人署名活動」支援カンパのお願い

「高校生平和大使」の活動は、1998年から核兵器の廃絶と平和を願う被爆地の声を世界に伝えることを目的に、若い世代の平和活動育成も兼ねて、毎年市民のカンパで国連派遣を取り組み、今年で28年目を数える。

全国各地で「高校生1万人署名活動」メンバーとともに集めた署名は、これまでに272万3142筆

「高校生平和大使」派遣の取り組みは、今年から山梨県が新たに加わり、全国18

都道府県に拡がっている。

2014年に平和フォーラム・原水禁国民会議などが中心となつて立ち上げられた「高校生平和大使を支援する全国連絡会」は、活動を財政面から支えるた

「高校生平和大使」派遣の取り組みは、今年から山梨県が新たに加わり、全国18

今の航空運賃や宿泊費の高騰などもあって、全国に取組みが広がるほどにこの運動を支える財政確立が重要となっている。

「高校生平和大使派遣委員会」「高校生1万人署名実行委員会」から原水禁国民会議を通じて、高校生平和大使の活動を支えるためのカンパの取り組みについて協力要請があった。国労もその趣旨を受け止めて、カンパを取り組みことにしたので、組合員・家族の積極的な協力をお願いします。

被爆80年国鉄労働組合視察学習 交流会に参加して(その2)

長崎の地において4月13日〜14日で開催された『被爆80年国鉄労働組合視察学習交流会』の感想文を紹介します。
第2弾の今回は開催を準備した九州エリア本部3名と東日本エリア本部9名の感想文です。

【九州エリア本部】

九州エリア本部でも被爆80年の 取り組みを強化していく

九州エリア本部書記長 西山 泰三

初日の講演で高校生平和大使が被害の歴史も加害の歴史も正しい知識を知ることが大事との話を聞き、右傾化が進む社会で、SNS等一方的な情報を見聞きする現状に若い世代でもしっかりと考えた

家族、他労組組合員にも参加を呼びかけ、平和について多くの人が考えるような運動の展開をしていきたいと思っています。

今回の被爆80年視察学習交流会開催にあたり、国労本部・長崎地区本部の皆様による入念な準備をして頂きありがとうございます。

次世代が平和への取り組みを 継承することが重要

九州エリア本部執行委員 福岡 彰

私は小学校入学時の担任が定年間近の戦争体験者の女性でした。「福岡大空襲の時、戦闘機が上空に現れ大変怖い思いをした。香椎の銀行の地下室に逃げ込み難を逃れた。戦争はダメだ」と

平和大使や毎日新聞記者の方が、平和への取り組みを真剣に報告されている姿を拝見し、次世代がこの運動を継承することが重要だと感じました。

原爆資料館に訪れたのは小学校の修学旅行で一度、10年前に長崎で車掌をしていたところに一度、今回が恐らく3回目ですが、これまでと大きく違い外国人の来館者がかなり多く、皆さん真剣に展示を観ていました。

単純にインバウンドの増加というのもあるかもしれませんが、海外からの関心の高さを実感するとともに核エネルギーを生み出した人類全体が直面する課題なのだと思います。

長崎は、2015年8月6日〜9日の日程で「被爆70周年原水禁世大会長崎大会」に平和環境岩手県センターの仲間・家族・高校生平和大使の方々と参加して以来10年ぶりに訪れました。

10年前を振り返れば、長崎原爆病院にてお見舞いや平和公園・爆心地公園・原爆資料館にも初めて来館し、核兵器の恐ろしさ、悲惨な光景に胸が熱くなる思いでした。また、江平町公民館の慰霊碑に岩手県団を代表して献花・墓参りにも行ってきました。

8月9日はとても暑い日でしたが、11時2分の原爆投下時間に合わせ、黙祷を捧げて長崎大会を後にしましたが、現地で行動し学習する中で見聞を広められたことは生涯に残る旅になりました。

今回二度目の長崎訪問になりますが、10年ぶりに訪れた長崎は九州新幹線が開業し、

被爆の遺構を巡り 平和について考えるきっかけを

長崎地区本部執行委員 宇都宮 篤志

4月13〜14日に開催された被爆80年視察学習交流会に長崎地区本部の一員として準備から参加しました。被団協がノーベル平和賞を受賞し、被爆80年の節目に全国から多くの組合員が参加して行われた行事に携われたことは貴重な経験となりました。

初日は講演中心となりましたが、被爆者の多くが高齢化し、平和学習も出来なくなっていると感じて、長崎出身者として危機感を持ちました。

が、高校生平和大使の活動報告を聞いていると、自分の親より年上が大半を占める会場で、現状と課題を分析し発言する姿を見て、長崎の平和学習が若い世代に引き継がれて

二日目は天気が悪く中ではありましたが、慰霊式で松川委員長をはじめ、本部執行委員・各エリア地本の代表者多くの参列者に献花して頂きありがとうございます。

最後に遺構巡り・原爆資料館・バスでの集約とかなかなかゆつくりする時間は無かったと思いますが、長崎は世界遺産・数多くの離島・日本三日夜景と美味しい食べ物と酒も沢山あります。是非、次は家族・友人・パートナーとの旅行でお越しください。

そして、少しの時間でもいいので、今回の視察で訪れた場所を巡って頂き、平和について考えるきっかけになればと思います。

2日間お疲れ様でした。

最後に遺構巡り・原爆資料館・バスでの集約とかなかなかゆつくりする時間は無かったと思いますが、長崎は世界遺産・数多くの離島・日本三日夜景と美味しい食べ物と酒も沢山あります。是非、次は家族・友人・パートナーとの旅行でお越しください。

そして、少しの時間でもいいので、今回の視察で訪れた場所を巡って頂き、平和について考えるきっかけになればと思います。

2日間お疲れ様でした。

最後に遺構巡り・原爆資料館・バスでの集約とかなかなかゆつくりする時間は無かったと思いますが、長崎は世界遺産・数多くの離島・日本三日夜景と美味しい食べ物と酒も沢山あります。是非、次は家族・友人・パートナーとの旅行でお越しください。

そして、少しの時間でもいいので、今回の視察で訪れた場所を巡って頂き、平和について考えるきっかけになればと思います。

戦争は人の心を狂わせる 恐ろしいもの

盛岡地方本部執行副委員長 及川 孝



献花する及川さん(盛岡地本)

その影響もあるのか浦上駅前の慰霊碑も場所が移動されていました。人通りが少ない場所に移動されていたので、少し寂しい思いもしますが、勤務中に亡くなった先輩方や鉄路で負傷者の救助にあたった先輩方に敬意と心から哀悼の意を表します。

広島に原爆が投下された3日後に長崎に原爆が投下されました。広島で14万人以上と

もいわれる尊い命が一瞬のうちに奪われ、原爆の威力は計り知れないものであったはず。それにもかかわらず二度目の原爆を長崎に投下するなど戦争は人の心を狂わせる恐ろしいものです。

被爆80周年長崎視察学習交流会に参加して、戦争の恐ろしさと思かさを感ずる中で、核兵器の廃絶と平和の尊さを発信し平和憲法を守り活かす取り組みに職場・地域から行動していくこととします。

一方、高校生平和大使が平和について真剣に考え、行動している姿に頼もしさを感じました。被爆80年、多くの人々の記憶は薄らぎ始めています。けれども、戦争を「美化」させない、戦争の実相を伝承していくことの大切さを改めて感じたところです。

戦争の実相を伝承していく ことの大切さを改めて感じた

盛岡地方本部書記長 菊池 要悦

戦後80年が経過する中、ロシアによるウクライナイ侵攻やイスラエルとイスラム組織ハマスとの武力衝突などで「終末時計」は「89秒前」とされています。世界各地においては内戦状態や内乱状態の国も多く、尊い生命が危険にさらされています。

日本も過去、軍部の独走により無謀な戦争へと突き進み、アジア諸国の多くの人々

に多大な危害を与え、同時に国内においても多くの国民が戦争の犠牲となりました。その最たるものの一つが原爆投下です。

核兵器の非人道的さは、その熱線や爆風だけでなく、人間のDNAそのものを傷つけることにあります。つまり、目に見えない被害は何世代にも渡って続いていくことになり

協力できることは 積極的に力を貸していきたい

秋田地方本部会計監査 佐藤 智恵美

被爆80年視察学習交流会に参加することができて非常に良かった。国家同士の争いが、数えきれない数の罪なき国民の尊い命を一瞬にして奪った。私たちは、あの日を決して忘れてはならないと、心に刻んだ。

高校生平和大使の活動報告から組合活動と重なる点が見え、新たな視点からの

学びを得た時間にもなった。彼女たちには長崎の地に生まれたからこそ知り得ることや語れる生の声、そして周りへ伝えていかなければならないことが数多くある。その宿命を彼女たちは素直に、前向きに受け止め、誰にでもできることではない経験と、これからの将来に活きる友好・交流体験を継続している。今後も

被爆80年視察学習交流会に参加することができて非常に良かった。国家同士の争いが、数えきれない数の罪なき国民の尊い命を一瞬にして奪った。私たちは、あの日を決して忘れてはならないと、心に刻んだ。

高校生平和大使の活動報告から組合活動と重なる点が見え、新たな視点からの



長崎原爆資料館で展示物を見る九州エリア福岡さん(一番左)

九州でも組織人員減少に伴う活動の縮小は避けられないのは確かですが、やれることはまだまだあると思います。今回の視察学習交流会をきっかけにして九州でも被爆80年の取り組みを強化していきたいと思っています。

6月6〜7日には九州本部としての平和学習交流会・組

長崎地区本部執行委員 宇都宮 篤志

長崎は、2015年8月6日〜9日の日程で「被爆70周年原水禁世大会長崎大会」に平和環境岩手県センターの仲間・家族・高校生平和大使の方々と参加して以来10年ぶりに訪れました。

10年前を振り返れば、長崎原爆病院にてお見舞いや平和公園・爆心地公園・原爆資料館にも初めて来館し、核兵器の恐ろしさ、悲惨な光景に胸が熱くなる思いでした。また、江平町公民館の慰霊碑に岩手県団を代表して献花・墓参りにも行ってきました。

8月9日はとても暑い日でしたが、11時2分の原爆投下時間に合わせ、黙祷を捧げて長崎大会を後にしましたが、現地で行動し学習する中で見聞を広められたことは生涯に残る旅になりました。

今回二度目の長崎訪問になりますが、10年ぶりに訪れた長崎は九州新幹線が開業し、

最後に遺構巡り・原爆資料館・バスでの集約とかなかなかゆつくりする時間は無かったと思いますが、長崎は世界遺産・数多くの離島・日本三日夜景と美味しい食べ物と酒も沢山あります。是非、次は家族・友人・パートナーとの旅行でお越しください。

そして、少しの時間でもいいので、今回の視察で訪れた場所を巡って頂き、平和について考えるきっかけになればと思います。

2日間お疲れ様でした。

日本の代表として自信をもって、胸を張って正しく伝えていってほしい。

そして、そこへ私自身ができる署名活動や仲間への学习交流会の内容の水平展開など、小さなことではあるが協力できることは積極的な力を貸していきたいと、強く感じた。

平和大使の彼女たちから学んだことは、相手は一体どのように考えたのか、なぜそうしたのか、根拠となった決まりはあったのかなど、相手に先輩に興味を持つことや聴いてみるのが大事で、そこから相手に教える機会を設けて語ってみることや、どう思ってたか聞いてみる行動が次のステップへとつながるということだ。これは、組合活動・拡大大行動の基盤のひとつではないか。

世の中は様々な思考を持った人間が集まることで回っていて、意見の相違や内容によっては受け入れられないこともある。それでも互いに妥協点を見出して活動を続けていくことが、各々の考える幅を広げる一歩になると思っている。自分と考え方や環境が異なるから会話をしないとか、交流を深めないとか、否定から入るスタンスでいるのは、同じ志を持つ仲間でも違和感を感じる。

今ある自分を認め、相手の考えに耳を傾け、考えは異なれど向かうゴールはいつしよなのだからこそ、どんなことでも語り合いたい。語り合っで見識を広げていきたい。悩んで、迷って、それでも「国労」を選んだ自分と仲間に誇りをもって明日からも強い決意で進んでいきたい。そう考えさせてもらえた貴重な時間であった。

一般人を大量殺戮した事実を決して消えない

新潟地方本部執行委員長 清野 聡

4月12日は前泊で東京に泊まりましたが、その日の朝に自宅できつくり腰になりました。視察学習会を欠席することとも考えましたが、航空チケットもとっているので湿布と腰痛バンドで参加することにしました。座っている時と歩くときは大丈夫でしたが、座った状態から立ち上がる時に激痛が走る状態でした。そんな状態でしたが参加してよかったと思います。

一日目の学習交流会では高校生平和大使の報告と長崎市議会議員の池田章子さんの講演が心に残りました。

高校生平和大使の報告では毎月9日の日に街頭で活動していることやジュネーブの国連本部への派遣等の報告を受け、すごいことをしているんだと思いました。

また池田さんの講演では「被爆体験者」という言葉を初めて聞きました。被爆者と被爆体験者の差別。そしてほ

か

の住民からの差別等水俣病と同じようなことが起きていると感じました。科学的根拠と言いつつながら病状を認めない国。県民に奉仕しなければならぬのに国に付度する県や裁判官。この国のいびつさが表れています。今夏の参院選ではこの国の現状を変えなければなりません。

二日目は長崎原爆資料館へ行きました。原爆により溶けた物の展示よりも、黒焦げになった子供の写真と母親が肩の皮膚がはがれながら子供を

入るスタンスでいるのは、同じ志を持つ仲間でも違和感を感じる。

今ある自分を認め、相手の考えに耳を傾け、考えは異なれど向かうゴールはいつしよなのだからこそ、どんなことでも語り合いたい。語り合っで見識を広げていきたい。悩んで、迷って、それでも「国労」を選んだ自分と仲間に誇りをもって明日からも強い決意で進んでいきたい。そう考えさせてもらえた貴重な時間であった。

一般人を大量殺戮した事実を決して消えない

新潟地方本部執行委員長 清野 聡

入るスタンスでいるのは、同じ志を持つ仲間でも違和感を感じる。

今ある自分を認め、相手の考えに耳を傾け、考えは異なれど向かうゴールはいつしよなのだからこそ、どんなことでも語り合いたい。語り合っで見識を広げていきたい。悩んで、迷って、それでも「国労」を選んだ自分と仲間に誇りをもって明日からも強い決意で進んでいきたい。そう考えさせてもらえた貴重な時間であった。

一般人を大量殺戮した事実を決して消えない

新潟地方本部執行委員長 清野 聡

入るスタンスでいるのは、同じ志を持つ仲間でも違和感を感じる。

今ある自分を認め、相手の考えに耳を傾け、考えは異なれど向かうゴールはいつしよなのだからこそ、どんなことでも語り合いたい。語り合っで見識を広げていきたい。悩んで、迷って、それでも「国労」を選んだ自分と仲間に誇りをもって明日からも強い決意で進んでいきたい。そう考えさせてもらえた貴重な時間であった。

一般人を大量殺戮した事実を決して消えない

新潟地方本部執行委員長 清野 聡

入るスタンスでいるのは、同じ志を持つ仲間でも違和感を感じる。

今ある自分を認め、相手の考えに耳を傾け、考えは異なれど向かうゴールはいつしよなのだからこそ、どんなことでも語り合いたい。語り合っで見識を広げていきたい。悩んで、迷って、それでも「国労」を選んだ自分と仲間に誇りをもって明日からも強い決意で進んでいきたい。そう考えさせてもらえた貴重な時間であった。

一般人を大量殺戮した事実を決して消えない

新潟地方本部執行委員長 清野 聡

入るスタンスでいるのは、同じ志を持つ仲間でも違和感を感じる。

今ある自分を認め、相手の考えに耳を傾け、考えは異なれど向かうゴールはいつしよなのだからこそ、どんなことでも語り合いたい。語り合っで見識を広げていきたい。悩んで、迷って、それでも「国労」を選んだ自分と仲間に誇りをもって明日からも強い決意で進んでいきたい。そう考えさせてもらえた貴重な時間であった。

一般人を大量殺戮した事実を決して消えない

新潟地方本部執行委員長 清野 聡

入るスタンスでいるのは、同じ志を持つ仲間でも違和感を感じる。

今ある自分を認め、相手の考えに耳を傾け、考えは異なれど向かうゴールはいつしよなのだからこそ、どんなことでも語り合いたい。語り合っで見識を広げていきたい。悩んで、迷って、それでも「国労」を選んだ自分と仲間に誇りをもって明日からも強い決意で進んでいきたい。そう考えさせてもらえた貴重な時間であった。

一般人を大量殺戮した事実を決して消えない

新潟地方本部執行委員長 清野 聡

入るスタンスでいるのは、同じ志を持つ仲間でも違和感を感じる。

今ある自分を認め、相手の考えに耳を傾け、考えは異なれど向かうゴールはいつしよなのだからこそ、どんなことでも語り合いたい。語り合っで見識を広げていきたい。悩んで、迷って、それでも「国労」を選んだ自分と仲間に誇りをもって明日からも強い決意で進んでいきたい。そう考えさせてもらえた貴重な時間であった。

一般人を大量殺戮した事実を決して消えない

新潟地方本部執行委員長 清野 聡

入るスタンスでいるのは、同じ志を持つ仲間でも違和感を感じる。

今ある自分を認め、相手の考えに耳を傾け、考えは異なれど向かうゴールはいつしよなのだからこそ、どんなことでも語り合いたい。語り合っで見識を広げていきたい。悩んで、迷って、それでも「国労」を選んだ自分と仲間に誇りをもって明日からも強い決意で進んでいきたい。そう考えさせてもらえた貴重な時間であった。

一般人を大量殺戮した事実を決して消えない

新潟地方本部執行委員長 清野 聡

入るスタンスでいるのは、同じ志を持つ仲間でも違和感を感じる。

今ある自分を認め、相手の考えに耳を傾け、考えは異なれど向かうゴールはいつしよなのだからこそ、どんなことでも語り合いたい。語り合っで見識を広げていきたい。悩んで、迷って、それでも「国労」を選んだ自分と仲間に誇りをもって明日からも強い決意で進んでいきたい。そう考えさせてもらえた貴重な時間であった。

一般人を大量殺戮した事実を決して消えない

新潟地方本部執行委員長 清野 聡

入るスタンスでいるのは、同じ志を持つ仲間でも違和感を感じる。

今ある自分を認め、相手の考えに耳を傾け、考えは異なれど向かうゴールはいつしよなのだからこそ、どんなことでも語り合いたい。語り合っで見識を広げていきたい。悩んで、迷って、それでも「国労」を選んだ自分と仲間に誇りをもって明日からも強い決意で進んでいきたい。そう考えさせてもらえた貴重な時間であった。

一般人を大量殺戮した事実を決して消えない

新潟地方本部執行委員長 清野 聡

入るスタンスでいるのは、同じ志を持つ仲間でも違和感を感じる。

今ある自分を認め、相手の考えに耳を傾け、考えは異なれど向かうゴールはいつしよなのだからこそ、どんなことでも語り合いたい。語り合っで見識を広げていきたい。悩んで、迷って、それでも「国労」を選んだ自分と仲間に誇りをもって明日からも強い決意で進んでいきたい。そう考えさせてもらえた貴重な時間であった。

一般人を大量殺戮した事実を決して消えない

新潟地方本部執行委員長 清野 聡

入るスタンスでいるのは、同じ志を持つ仲間でも違和感を感じる。

今ある自分を認め、相手の考えに耳を傾け、考えは異なれど向かうゴールはいつしよなのだからこそ、どんなことでも語り合いたい。語り合っで見識を広げていきたい。悩んで、迷って、それでも「国労」を選んだ自分と仲間に誇りをもって明日からも強い決意で進んでいきたい。そう考えさせてもらえた貴重な時間であった。

一般人を大量殺戮した事実を決して消えない

新潟地方本部執行委員長 清野 聡

入るスタンスでいるのは、同じ志を持つ仲間でも違和感を感じる。

今ある自分を認め、相手の考えに耳を傾け、考えは異なれど向かうゴールはいつしよなのだからこそ、どんなことでも語り合いたい。語り合っで見識を広げていきたい。悩んで、迷って、それでも「国労」を選んだ自分と仲間に誇りをもって明日からも強い決意で進んでいきたい。そう考えさせてもらえた貴重な時間であった。

一般人を大量殺戮した事実を決して消えない

新潟地方本部執行委員長 清野 聡

入るスタンスでいるのは、同じ志を持つ仲間でも違和感を感じる。

今ある自分を認め、相手の考えに耳を傾け、考えは異なれど向かうゴールはいつしよなのだからこそ、どんなことでも語り合いたい。語り合っで見識を広げていきたい。悩んで、迷って、それでも「国労」を選んだ自分と仲間に誇りをもって明日からも強い決意で進んでいきたい。そう考えさせてもらえた貴重な時間であった。

一般人を大量殺戮した事実を決して消えない

新潟地方本部執行委員長 清野 聡

入るスタンスでいるのは、同じ志を持つ仲間でも違和感を感じる。

今ある自分を認め、相手の考えに耳を傾け、考えは異なれど向かうゴールはいつしよなのだからこそ、どんなことでも語り合いたい。語り合っで見識を広げていきたい。悩んで、迷って、それでも「国労」を選んだ自分と仲間に誇りをもって明日からも強い決意で進んでいきたい。そう考えさせてもらえた貴重な時間であった。

一般人を大量殺戮した事実を決して消えない

新潟地方本部執行委員長 清野 聡

入るスタンスでいるのは、同じ志を持つ仲間でも違和感を感じる。

今ある自分を認め、相手の考えに耳を傾け、考えは異なれど向かうゴールはいつしよなのだからこそ、どんなことでも語り合いたい。語り合っで見識を広げていきたい。悩んで、迷って、それでも「国労」を選んだ自分と仲間に誇りをもって明日からも強い決意で進んでいきたい。そう考えさせてもらえた貴重な時間であった。

一般人を大量殺戮した事実を決して消えない

新潟地方本部執行委員長 清野 聡



国鉄原爆死没者慰霊碑前の秋田地本佐藤さん（右から2番目）



平和の像前の高崎地本倉林さん（後列左から3番目）



献花する東京地本本間さん（左）

